

●夏季展―山田正亮展―新館2階・地下1階―  
 抽象・美への招待  
 秘蔵のコレクションを中心に

# 静謐なる山田正亮

An Invitation to Abstraction  
 and Beauty:  
 Masaki Yamada  
 -Selected Works  
 from Private Collections



上:《Work F.351》個人蔵 | 右下:《Work C.86》東京都現代美術館蔵

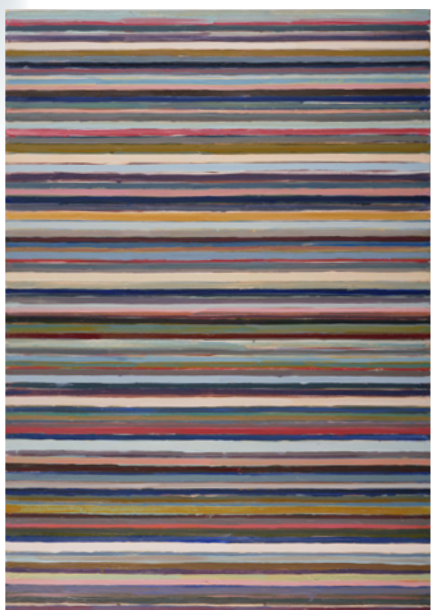
2026年  
 7月4日(土)―8月2日(日)

会場:荏原 島山美術館 本館2階展示室、新館2階展示室、新館地下1階展示室  
 開館時間:10時~17時(最終入館16時30分) | 休館日:月曜日、7月20日[月・祝]は開館、21日は休館  
 入館料:一般1500円/高校生・大学生1000円/中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)  
 主催:荏原 島山美術館 | 協力:一般社団法人 山田正亮の会  
<https://www.hatakeyama-museum.org/> お問合せ:050-5541-8600 [ハローダイヤル]



EBARA HATAKEYAMA  
 MUSEUM OF ART  
 荏原 島山美術館

2展を  
 同時開催



EBARA HATAKEYAMA  
 MUSEUM OF ART  
 荏原 島山美術館

2026年7月4日(土)―8月2日(日)  
 会場:荏原 島山美術館 本館2階展示室、新館2階展示室、新館地下1階展示室 開館時間:10時~17時(最終入館16時30分)  
 休館日:月曜日、7月20日[月・祝]は開館、21日は休館 入館料:一般1500円/高校生・大学生1000円/中学生以下無料(但し保護者の同伴必要)  
 主催:荏原 島山美術館 協力:一般社団法人 山田正亮の会 | <https://www.hatakeyama-museum.org/> お問合せ:050-5541-8600 [ハローダイヤル]

2展を  
 同時開催

①《蕎麦茶碗 銘 螢》朝鮮時代 松平不昧所持 ②《瓢花入 銘 木兎 千道安作》桃山時代 ③《向日葵図》鈴木其一筆 江戸時代 ④《色絵牡丹文四方皿》尾形乾山 江戸時代

●島山コレクション―本館2階―夏季展―

# 茶道具と銘をめぐる物語

Stories Behind the Names of Tea Utensils





1

An Invitation to Abstraction and Beauty:  
Masaki Yamada  
-Selected Works from Private Collections-

●夏季展Ⅱ：山田正亮展—新館2階・地下1階—  
抽象・美への招待

静謐なる山田正亮  
秘蔵のコレクションを中心に

「究極の抽象」と「究極の写実」の鮮やかなリレー

夏季の連続企画として、対極にある二つの表現方法をI期・II期で提示する展覧会を開催します。「抽象から写実へ」というテーマを通じて、現代アート表現の豊かさを紹介いたします。

I期では、山田正亮(1929~2010)の抽象絵画の世界へご案内いたします。本展では、「格子」や「縞」、絵の具の「物質感」といったテーマを軸に、一見難解に感じられがちな抽象画を直感的に楽しんでいただける構成となっております。初期の静物画から晩年の鮮やかな色彩へと至る画業の軌跡を年代順に追体験いただくことで、抽象画になじみのない方でも自然とその魅力に引き込まれるような、物語性のある空間を目指しています。



5



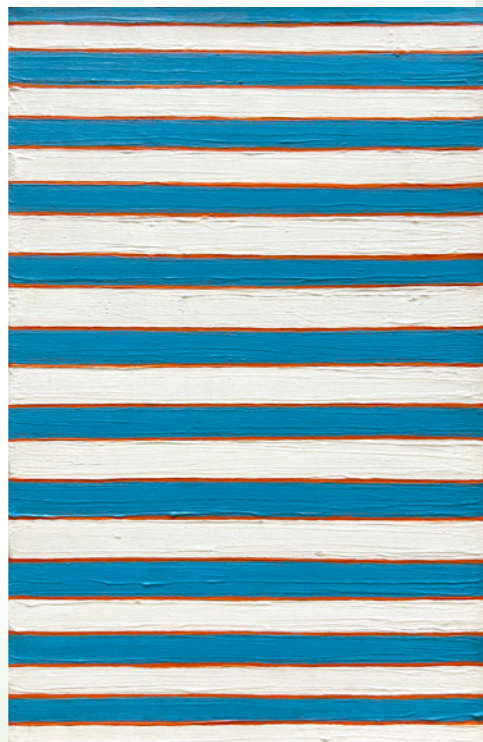
4

- 1 《Still Life no.11》府中市美術館蔵
- 2 《Work B.048》個人蔵
- 3 《Work B.214》個人蔵
- 4 《Work E.400》個人蔵(東京都現代美術館寄託)
- 5 《Work E.139》個人蔵
- 6 《Work C.134》個人蔵
- 7 《Work D.301》個人蔵

**山田正亮略歴** | 1929(昭和4)年、東京府荏原郡荏原町大字戸越861番地(現在の東京都品川区戸越)に生まれる。1950(昭和25)年に東京府立工業高専卒業後、1953(昭和28)年長谷川三郎に私淑し絵画制作を始めた。当初はデザイン会社に勤めながら、自由美術協会展や読売アンデパンダン展に出品していたが、早い時期から画壇とは距離を置き、1958(昭和33)年以降は個展発表による孤高の制作活動を貫いた。1987(昭和62)年には第19回サンパウロ・ビエンナーレに出品し、日本の現代美術を代表する画家として国際的な評価を高めた。晩年の2005(平成17)年には府中市美術館で個展を開催し、文化庁長官表彰を受けた。2010(平成22)年7月18日国立市の自宅兼アトリエにて逝去、享年81歳。



2



6



7

長い年月を経て大切に守り伝えられてきた茶道具の逸品たち。茶人は、世界に一つしかない道具への尊敬と親愛の情を込めて、これらに「銘」を授けました。

「銘」とは、優れた茶道具に付けられた別名のことで。道具本体や保管用の箱に記されたその名は、茶道具を愛した人々の想いや美意識を現代へと伝える懸け橋となっています。

本展では、「なぜ、この銘が付いたのか」というテーマに焦点を当て、茶道具に秘められた物語を紐解きます。涼を感じる作品の数々とあわせて、ぜひお楽しみください。本展が、茶道具を観て楽しむきっかけとなれば幸いです。(I期とII期(8/28(金)~9/27(日))で一部展示替えあり。)



1

2展を  
同時開催



2

■関連イベント[事前申込制]

■ミュージアムリサイタル

日時:7月11日(土)15:00~  
奏者:鈴木大介氏(ギタリスト)  
※詳細、申込方法は別途当館ウェブサイトをご確認ください。

■鑑賞会(本展のみどころを紹介いたします)

第1回目:7月4日[土] 講師:岡部昌幸(当館館長)  
第2回目:7月25日[土] 講師:水田至摩子(当館学芸部長)  
各回とも10:30~11:15 | 会場:荏原 畠山美術館 新館1階多目的室 | 定員:各回70名

※関連イベントは全て事前申込制。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。  
その他のイベントを開催する場合もウェブサイトでご案内します。  
※事前申込不要の学芸員によるミニトークを開催いたします。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

[お知らせ] 当日券の購入およびショップ・カフェでのお支払いは「キャッシュレス決済のみ」となります。  
ご利用可能な決済方法は、クレジット・交通系ICカード・電子マネー・QRコードとなります。

■次回の展覧会 夏季展Ⅱ | 8月28日(金)~9月27日(日)  
追悼1年—上田薫のスーパーリアリズム—ジャム、アイスクリーム、なま玉子(仮)



公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団  
〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

お問合せ:050-5541-8600 [ハローダイヤル]  
<https://www.hatakeyama-museum.org/>



3



4

- 1 《祥瑞砂金袋水指》中国 景德鎮 明時代
- 2 《織部手付向付》桃山時代
- 3 《染付桶側水指》中国 景德鎮 明時代
- 4 《備前茶入 銘 関寺》桃山~江戸時代  
仕覆 梅鉢宝尽文織子 挽家 朱漆組物



[アクセス]  
■都営浅草線「高輪台」駅下車A2出口左手交番を左折徒歩5分  
■東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅下車  
1番出口右手コンビニを右折徒歩10分  
※一般来館者専用の駐車場(輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。なお車いす用駐車場(1台)は、事前に予約された方の専用駐車場です。予約方法は当館のウェブサイトをご確認ください。